

第37回セラミックスに関する顕微鏡写真展 日本セラミックス協会学術写真賞 作品募集

“第37回セラミックスに関する顕微鏡写真展”の作品を募集します。応募対象となるのは、光学顕微鏡、透過型電子顕微鏡、走査型電子顕微鏡、走査型プローブ顕微鏡などで観察されたセラミックスに関する顕微鏡写真です。ご応募頂きました作品(写真と説明)はすべて2012年年会の予稿集に掲載され、また、年会会場に展示されます。

応募作品の中で、1)オリジナルな科学的知見を含んでいる学術的価値の高い写真、2)写真の撮影技術や試料作製技術に優れ、技術的に高度または美的水準が高いと認められる写真、に対して“日本セラミックス協会学術写真賞”が授与されます。ご応募いただきましたすべての作品には、参加賞を贈呈します。また、来年度のセラミックス誌の表紙写真の候補になります。教科書に使用したいような優れた写真については、特別賞の対象となる場合もあります。皆様からの応募をお待ちしております。

◆◆募集要領◆◆

▼ご応募頂くものは、1件の応募につき下記の4点です。4点1セットを下記宛にお送りください。

応募用フォーマット、作品作りや説明文の書き方のコツなどをwebにて公開中！

http://www.ceramic.or.jp/csj/hyosho/shashin_sho.html

	応募物	体裁	作成にあたって、留意事項等
1	応募者連絡票	プリント、及びCD-R等に保存	ホームページより、連絡票をダウンロードしてください。応募作品に関する問い合わせ先をご記入ください。
2	展示用写真	A4ヨコ 応募者がプリントしたもの※	白黒・カラーは問いません。A4サイズ横長の台紙(色は自由)に、各辺2cm以上の余白を残して写真をのりで張付けてください(標準八つ切)。余白を残してA4にプリントしたもので可。組写真も可能ですが、全体で上記に納まるようにしてください。なお、写真内にスケールを必ず入れてください。
3	展示用説明用紙	A4ヨコ 応募者がプリントしたもの※	A4サイズ横長で使用し、白色の用紙に各辺2cm以上の余白を残して、次の事項を順に記入してください(記入例を参照ください)。 1. 標題(24ポイント、センタリング、“標題”は不要、タイトルだけ) 2. 応募者所属・氏名(ふりがな)(18ポイント、左詰、“応募者所属・氏名:”と記して続ける) 3. 撮影者所属・氏名(ふりがな)(18ポイント、左詰、“撮影者所属・氏名:”と記して続ける) 4. 装置・撮影条件(18ポイント、左詰、“装置・撮影条件:”と記して続ける) 5. 写真の説明(14～16ポイント、左詰、文頭になにも書かず直接内容を書く) 学術的意義や技術的意義(試料作製方法、撮影方法等について)などを含めて、写真の説明を800字程度(全部で1枚以内)で書いてください。
4	予稿集掲載用PDFデータ	A3タテ CD-R等に保存	1と2を組み合わせ、PDFにしたもの。予稿集には写真と説明を併せて、縮小印刷(白黒)して掲載されますので、字の大きさに十分留意してください。CD-R等には所属、氏名を明記してください。

※協会ではプリントサービスを行っておりません。展示用の写真および説明用紙は、必ず応募者自身がプリントしたものをお送りください。

作品の著作権は当協会に属します。

応募資格 応募者に少なくとも1名の当協会会員(個人会員、教育会員、学生会員)が含まれていることを応募の条件とします。

応募作品は未発表のものに限り、例外として、セラミックス誌またはJournal of the Ceramic Society of Japanにのみ発表された写真は、掲載が1年以内(2011年1月号以降)であれば応募できます。(ただし、この例外は他の写真展で入選・入賞した作品に適用されません。)

学術写真賞の選考と表彰

- 学術写真賞の選考は、行事企画委員会内の学術写真賞選考委員会で行います。
- 表彰式は年会パーティー会場で行います。最優秀賞受賞者(代表者一人)を年会パーティーにご招待します。入賞作品には、賞状と副賞が贈られます。
- 選考結果は、セラミックス誌2012年6月号(予定)に掲載され、受賞作品はWEBでも公開されます。(過去の受賞作品はhttp://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/shashin_sho/index.htmをご覧ください。)

参加賞 すべての応募作品(説明文を含む)は、写真用額縁(A3サイズ)に入れて返送し、これを参加賞とさせていただきます。応募者は何点でも出品できます。

応募締切 2012年1月11日(水)必着

送付先 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-22-17 公益社団法人 日本セラミックス協会 顕微鏡写真展係